

第十课 在餐厅（用餐中劝酒加菜）

レストランにてお酒や料理を勧める

田中科长: shǒuxiān wǒmen wèi huānyíng lì rì gōngsī yīxíng lái wǒ
首先 我们 为 欢迎 立日 公司 一行 来我

gōngsī fǎngwèn gānbēi
公司 访问，干杯！

大家: gānbēi
干杯！

李兰: zuō téng xiānsheng nín hái zài yào yì bēi píjiǔ ma
佐藤 先生 您还再要一杯啤酒吗？

佐藤: bù wǒ xiǎng yào hē diǎnr báijiǔ wǒ tīngshuō běijīng de
不，我想 要 喝 点儿 白酒。我听说 北京的

èr guō tóu hěn hǎo hē
二锅头 很好喝。

李兰: shìde nín de bùxià yě dōu lái diǎnr ma
是的，您的部下也 都 来 点儿 吗？

佐藤: hǎode
好的。

李兰: fúwùyuán gěi wǒmen yì píng zhēnpǐn èr guō tóu hé bāzhī
服务员，给我 们 一 瓶 珍品 二 锅 头 和 八 只
báijiǔ bēi
白酒 杯。

女服务员: hǎode
好的。

李兰: fúwùyuán ná lái jiǔ dào mǎn hòu zuō téng xiānsheng
(服务员拿 来 酒，倒 满 后) 佐藤 先生
wǒ jìng nín yì bēi zhù nín qiántú wúliàng
我敬您 一杯，祝您前途无量。

佐藤: xièxie yě zhù nǐ yǒng yuǎn niánqīng piàoliang
谢谢！也祝你永远年轻漂亮。

(guò le yí huìr kǎo yā shànglái le
过了 一会儿，烤鸭 上来 了)

李兰: qǐng nín cháng cháng zhèli de kǎo yā bié yǒu fēngwèi
请您尝尝这里的烤鸭，别有风味，
yídiǎnr dōu bù yóunì
一点儿都不油腻。

佐藤: エン、 真の味道好极了。

1. 【重要単語】

①干杯	gān bēi	乾杯
②白酒	bái jiǔ	焼酎の総称
③二锅头	èr guō tóu	二番しほりの焼酎、焼酎の銘柄
④来(点儿)	… lái (diǎnr)	(少し) もらう
⑤倒满	dào mǎn	いっぱいまで注ぐ
⑥前途无量	qián tú wú liàng	前途は洋々たるものである
⑦别有风味	bié yǒu fēng wèi	特別な風味がある
⑧油腻	yóu nì	油っぽい

2. 【その他慣用フレーズ】

① 我 来 给 你 倒 。

注がせていただきます。

② 请 随 便 用 。

どうぞご遠慮なく。

③ 你 想 要 这个 吗 ?

これはどうですか。

④ 尝 尝 这个 。

これを味見してみてください。

⑤ 要 不 要 再 来 一 杯 啤 酒 ?

ビールをもう一杯どうですか。

⑥ 为 了 今 后 合 作 愉 快 干 杯 !

今後もみんなで楽しく仕事できるように乾杯しましょう。

3. 【質問】

①在日本的宴会上会相互劝酒吗? 劝酒的时候说祝福的话吗?

②你喝过中国的白酒吗? 一般都在50度以上, 但听说有很多日本人都喜欢喝, 你呢?

③你知道吗？在中国干杯是要将杯子里的酒全部喝光。在日本是这样吗？

④其它问题（请老师随机问）

4. 【練習】

①先请学生读一边，纠正学生发音。

②问学生有没有不明白的地方，或让学生翻译一遍（根据学生水平可改变教学方法）。

③老师和学生分别扮演角色朗读对话、或作模仿会话练习。

④问学生第3大题的问题，请学生回答。除此之外也可老师根据学生水平作其它提问。

【参考訳文】

<レストランにてお酒や料理を勧める>

田中科長： まず、日立さん一行が弊社への訪問を歓迎するために乾杯しましょう。

大家： 乾杯。

李 兰： 佐藤さん、ビールはもう一杯どうですか。

佐 藤： いえ、中国の焼酎を少し頂きたいですが、北京の二锅头（二番しほり）は
とてもおいしいらしいですね。

李 兰： その通りです。佐藤さんの部下も全員味見してみたら？

佐 藤： そうしましょう。

李 兰： すみません、珍品二锅头を1瓶ください。それから焼酎用のコップを8個ください。

女服务员： はい、かしこまりました。

李 兰： （ウェートレスが焼酎を持ってきて、注いでから）佐藤さん、乾杯しましょう（一杯差し上げましょう）。前途は洋々たるものであるように。

佐 藤： ありがとう。いつまでも若々しくてきれいであるように。

（しばらくしたら、北京ダックが運ばれてきた）

李 兰： この店の北京ダックを食べてみてください。

特別な風味があって、しかも全然油っぽくないですよ。

佐 藤： うん、確かにおいしいですね。